



卒業試験をパスした4人の卒業生、彼らの進路は…

マンスリーサポーターの皆さま

日本では再び新型コロナウイルスの感染が拡大し予断を許さない状況が続いていますが、マンスリーサポーターのみなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

ラオスでは、今年の4月（ラオス正月前後）に感染者数が急増し心配しましたが、その後だいぶ落ちついてきています。これ以上の経済停滞を回避するため政府は規制緩和の方針をとるようになり、5月から海外からの入国者に対する水際措置を大幅に緩和しました。首都ヴィエンチャンでは、外国人観光客の姿も見かけるようになりました。しかしながら、コロナ禍や世界情勢の影響もあり経済は落ち込み、ラオス通貨（キープ）が暴落、物価が今までになく高騰しています。ガソリン代はこれまでの2倍以上、タイからの食料品なども数倍の値段にハネ上がり、普段の生活にも影響が出ています。

そんな大変な状況ではありますが、このたび4人の奨学生が無事卒業を迎えました。みなさまからの温かい支援で、中等学校での勉学を続けられたことを、深く感謝申し上げます。卒業後の進路、将来についてラオスからの便りをご覧ください。



(認定) 特定非営利活動法人 代表 チャンタソン インタヴォン

5～6月に卒業試験が実施されました

ラオスの学校の年度が終わる5月下旬から6月中旬にかけて、毎年、学年末試験が行われます。ラオスの場合、この試験に合格点をとらなければ次の学年に進級できません。最終学年の7年生にとっては卒業試験となり、試験をクリアして晴れて卒業となります。2021-22年度では、サカ中等学

校で2人、ポンサイ中等学校で1人、ヒンフープ中等学校で1人、合計4人の奨学生が試験を通過し、無事卒業しました。

8月、生徒本人、各学校担任の先生、親御さんにラオス事務所スタッフが連絡をとり、彼らの様子を教えてもらいました。

サカ中等学校

Kさんは、現在ポンホーン郡内にある靴工場で働いているそうです。「勉強を続けたいけど、今はまだお金が無いので、稼ぐために仕事をしています。以前は仕立てを習得しようと思っていたけど、今は日本語と中国語を勉強して、将来は通訳になりたいと思っています。工場の寮で寝泊まりしていて、毎月のお給料は130万キープ（約12,000円）。そのうちの50万キープをお母さんに仕送りしています」と、話してくれました。

Lさんは現在、実家で農業の手伝いをしています。「ヴィエンチャン県の技術専門学校で経理か裁縫を勉強したいと思っていたけれど、8月に締め切られた入学願書を購入するお金がなく、申し込めませんでした。今はお金がないから、なかなか難しいです」と答えてくれました。

ポンサイ中等学校君

B君は、奨学金の選考時から、英語に興味があり外国で勉強してみたいと言っていました。奨学金を得て、英語補習校にも通うようになり、留学先としてUWC (United World Collage)の奨学生制度に応募していましたが、惜しくも最終選考で落選。今は、家で家畜の世話をしています。

「今もまだ英語補習校に通っています。大学に進学しようと思うと、学費がかかるので、奨学金をもらえたり授業料が免除されるような学校の試験を受けたいです。家計の負担を減らすために、働きながら勉強したいと思っています」と話してくれました。



校庭でおやつタイム（サカ中等学校）

ヒンフープ中等学校君

S君は今、首都ヴィエンチャンにある料理の専門学校に通っています。ここで3か月勉強したのち、お母さんの友人が経営するチェコのレストランで働くことになっています（料理学校の学費はその友人の方が出しているそうです）。「息子と離ればなれになるのは辛いけど、私は息子を信じ、信頼できる友人に託すことにしました」とお母さんが電話口で話してくれました。



授業を終えて ちょっとおしゃべり（ヒンフープ中等学校）

未来に向けて歩きだした卒業生たち

半数以上が大学に進学する日本の子どもにくらべ、ラオスの子どもは、中等学校（中学・高校）卒業の段階で、社会に出る子がほとんどです。

選考時のインタビューでは、卒業後の進路がまだおぼろ気だったり、軍人や警察官など限られた職業しか候補に挙がらなかったのが、自分が何に興味があるのか、どんなことをしたいのか、そのためにどんな方法があるのか、この1～2年の間にそれぞれがたくさん考えたあとがうかがえました。

その一方で、さらに勉強を続けたくても、経済的な理由でなかなか叶わない厳しい現実もあります。だからこそ、中等学校で過ごす7年間は、ラオスの子ども達にとって、とても貴重で大切な期間といえます。

巣立った4人の未来が、明るく広がって欲しいと期待します。

ラオスのこども マンスリーサポーター通信 2022年8月発行

(認定) 特定非営利活動法人ラオスのこども 〒143-0025 東京都大田区南馬込 6-29-12, 303
TEL&FAX 03-3755-1603 Email : alctk@deknoylao.net <http://www.deknoylao.net>

奨学生たちを支えるため、さらにマンスリーサポーターの協力を必要としています。

ぜひお知り合いをご紹介ください。事務局より資料などをお送りします。

マンスリーサポーターへのご寄付は、税金の控除を受けることができます。

